

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	畜産課
73		
※記入不要		
要望問題 簡易対応型ふん尿処理施設の実証試験		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>県畜産課としてH14年12月に出した簡易対応等のパンフレットについては、アイデアが主体で事例がないものが多く、普及にあたって実証施設の設置が必要である。 （鉄板式堆肥盤、堆肥バッグ式のほか、L型擁壁・コンパネ擁壁の乾燥堆肥化ハウス等） また、浄化槽の簡易設置事例についても（遮水シート等利用など）検討を願いたい。</p>		
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内	
研究対応区分	<input type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他	
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産研究所
部 署	企画経営部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	家畜ふんの簡易堆肥化技術実証試験
対応の内容等	<p>現在「簡易対応型ふん尿処理施設」として土壌硬化型堆肥盤の実証展示を行なっています。本実証では、県畜産課作成した簡易対応等のパンフレットに基づき、農家自身が簡易に施工できることを目的としています。この堆肥盤では、通気性シートや提案の中にある堆肥バック等の検討も加えていく計画です。</p> <p>浄化槽の簡易設置については、河川放流を想定した場合には水質汚濁法の対象となるので、簡易対応ではなくきちんとした設計に基づいた施設建設が必要と考えます。また小型簡易回分式浄化槽が販売されているので、そのような既製品での対応も選択肢と考えます。</p> <p>一方、尿を土壌還元により利用する場合には、一時貯留時に地下浸透を防止するための遮水シートの利用した簡易処理も考えられます。また、県外の試験成果では飼料タンクを利用した尿の簡易処理事例などがありますので、資料の提供を致します。</p>
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
備考	